

令和5年度第1回中央区在宅療養支援協議会 議事要旨

- 日時 令和5年6月8日(木) 午後6時30分～
- 場所 中央区役所8階 大会議室
- 出席者 【委員】15名
山田 雅子(聖路加国際大学教授)
竹見 敏彦(中央区医師会理事)
井関 栄三(日本橋医師会理事)
寺田 香織(京橋歯科医師会副会長)
関谷 治久(お江戸日本橋歯科医師会地域医療担当理事)
宮崎 夏樹(京橋薬剤師会副会長)
海老原 公代(日本橋薬剤師会理事)
宮崎 賢澄(中央区医師会)
寒河江 千智(医師会立中央区訪問看護ステーション管理者)
春日井 祥子(ケアプランエンゼル)
田中 芳子(プレアライズ居宅介護支援事業所)
牧野 和子(京橋おとしより相談センター)
田中 智彦(福祉保健部長)
北澤 千恵子(高齢者施策推進室長)
渡瀬 博俊(保健所長)
- 《欠席者》 小野 絵理子(中央区医師会訪問看護ステーションあかし所長)
佐々木 佳子(聖路加国際病院訪問看護ステーション所長)
- 【事務局】 福祉保健部管理課長、介護保険課長、健康推進課長

●議事次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 中央区在宅療養支援協議会委員の解嘱と委嘱
- 4 高齢者施策推進室長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 令和4年度事業実績報告
 - (2) 令和5年度在宅療養支援研修(案)について
 - (3) 中央区高齢者の生活実態調査および介護サービス利用状況等調査報告
- 6 閉会

議事の経過

1 中央区在宅療養支援協議会委員の解嘱と委嘱

- ・中央区主任ケアマネジャーの会推薦（主任ケアマネジャー）
令和5年4月3日付け 富岡真澄委員⇒田中芳子委員

2 議題（1）令和4年度事業実績報告および議題（2）令和5年度在宅療養支援研修（案）について

- ・資料1-1「令和4年度 緊急一時入院病床利用実績」
- ・資料1-2「令和4年度 在宅療養支援訪問看護の利用実績」
- ・資料1-3「令和4年度 医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイの利用実績」
- ・資料1-4「令和4年度 おとしより相談センターの在宅療養相談窓口の実績」
- ・資料1-5「認知症初期集中支援チーム事業実施状況」
- ・資料1-6「認知症サポーター養成講座事業実施状況」
- ・資料1-7「『気軽に相談できる場（認知症カフェ）』の実施状況」
- ・資料2「在宅療養支援研修実績一覧」
- ・資料3「令和5年度 在宅療養支援研修（案）」
- ・資料4「中央区高齢者の生活実態調査および介護サービス利用状況等調査報告（在宅療養支援に関する調査結果の抜粋）」

事務局から令和4年度事業実績の報告および令和5年度の事業概要の説明を行った。

（多職種連携推進のためのグループワークについて）

- ・感染対策をしながらどういう形式でグループワークを行うかについて、意見をいただきたい。
- ・机を並べて間隔を2メートル位空ける。換気は2方向開け、サーキュレーターを使用する。マスク、手指消毒も推奨する。
- ・話し合いの時間はなるべく短くする。
- ・グループに一人ファシリテーターが配置されると短い時間で目的に合ったものを展開することに近づくのではないかと感じた。職種が多岐にわたるので、最初の入り口でうまく展開できるようにするためにアイスブレイクを使っていくことを提案したいと思う。
- ・講師等がファシリテーターの役割を兼ねて各テーブルを回りたいと思うし、アイスブレイクを最初にやっても良いと思う。感染予防の点から長い時間の滞留は良くないが、会議後のコミュニケーションを短時間でも取れるように工夫をしてもらえたら良いと思う。

（歯科・薬剤に関する研修について）

- ・区民向け研修のチラシについて、A3掲示用とA4配布用の両方を配布してもらうこと、患者さんに配ってくださいというようなチラシに関する案内を出していただくことは可能か。
- ➡対応する。

（医療ニーズの高い方向け緊急ショートステイについて）

- ・在宅で輸血をしている人がいるが、緊急ショートステイの医療ニーズとして対応可能か。
- ・輸血の終了時までの医薬管理が必要になる、変化に気づくばかりでなく、重大な変化があったときに医学的に即応できることが輸血には求められると思うので、医療が必要である。
- ➡輸血は訪問診療で行っていると思うので、施設との調整になるが、緊急ショートステイ利用中に訪問で輸血をするということも手段としてはあり得るかもしれない。
- ・看護師や医師が入り込む場合の連絡体制やコストについても考えて行く必要がでてくると思う。

3 議題（3）中央区高齢者の生活実態調査および介護サービス利用状況等調査報告

事務局から調査報告について説明を行った。

・アンケートP18の中の医療関係者と介護関係者は連携を求めているという結果が、おとしより相談センターが介護支援専門員を対象に毎月行っている研修のアンケートからも同じものが読み取れる。京橋おとしより相談センターでは、医療と介護の連携ネットワークを目的に研修を行っており、相手がどのような仕事をしていて、どのようなことを求めているのかを共有することがお互いの距離を近づけていくと感じている。7月に実施される研修も目的に合ったものになっている。また、ケアマネジャーの情報誌「ケアマネのわ」を通して、昨年度10月の区民向け在宅療養支援研修の案内をしたが、研修の参加者からコロナ禍でもこのような機会を与えていただきとてもありがたいというご意見をいただいた。

・おとしより相談センターへの相談内容を公表してもらえるか。

➡個別の相談内容を公表するのは難しいが、今後もケアマネジャーのスキルアップにつながるような取組について相談しながら検討していきたい。

4 事務連絡

「行方不明高齢者捜索ネットワーク」のチラシの周知。

5 閉会

次回、令和5年度第2回の協議会は令和6年2月頃を予定。